

先進繊維・感性工学分野の履修プロセス概念図

工学の基礎を理解したうえで、繊維工学および感性工学に関する高度な専門知識に基づいて問題を分析し解決する能力を持つ人材

修士(工学) 学位授与

最終試験の合格

修士論文の保管
附属図書館
・質の保証

30単位以上を修得

講義科目 18単位以上
(研究科共通必修科目2単位)
(研究科または専攻共通選択必修科目2単位)
(分野共通必修科目2単位)
(所属ユニット科目10単位)

先進繊維工学 ユニットの科目群
感性工学 ユニットの科目群
先進繊維・感性工学分野の
専門的知識・能力

・繊維感性工学特論 (必修)
・マーケティング特論
・English Presentation (履修要件外)

融合領域の専門的知識

・繊維技術士特論
・繊維基礎科学
・繊維系資格概論
環境調和社会・
知識基盤社会
を支える素養

・MOT特論
・産学連携特別講義
・国際連携特別講義
・研究者倫理特別講義 (必修)

eAPRINIによる
研究行動
規範教育

演習4単位(必修)
特別実験8単位(必修)

研究手法の修得・論文執筆
複数教員による指導

研究分野の 科学・技術発展
専門的知識 の見解・倫理観
思考や妥当性の
説明・議論能力 研究・開発能力

情報収集・
分析能力 情報発信
能力

研究進捗状況に関する
中間発表会

研究課題の決定
・質の担保
早期から計画的な研究指導

指導教員の決定
・組織的な教育研究体制
・質の担保
複数研究分野教員に
よる補助指導

論文審査

論文発表会

・透明な審査体制
公開による開催

学位論文提出

審査委員の決定

・透明な審査体制
主査1名、副査2名以上

論文題目決定

学位論文作成・
論文審査

2年次

1年次

授業科目・研究指導

1. 大学等において能動的に学び、十分な基礎学力と緻密な思考力を身に付けている人
2. 科学・技術の基礎的あるいは応用的研究に高い意欲を持って取り組む人
3. 世界をリードする先進的科学・技術を担う研究者、あるいは複雑・高度な諸課題に専門性を持って貢献できる高度専門職業人を目指す人

機械・ロボット学分野の履修プロセス概念図

「機械・ロボット学」を柱とする横断的な専門知識を持ち
課題解決に向けて自主的・継続的に学習・計画・実行できる能力を持つ人材
修士(工学) 学位授与

最終試験の合格

修士論文の保管
附属図書館
・質の保証

30単位以上を修得

講義科目 18単位以上
(研究科共通必修科目2単位)
(研究科または専攻共通選択必修科目2単位)
(所属分野科目10単位) } 含む

分野授業科目

機械・ロボット学分野の専門知識

材料科学・材料力学

機械力学・機構学

熱・エネルギー

エレクトロニクス

メカトロニクス

・繊維技術士特論
・繊維基礎科学
・繊維系資格概論

専攻共通科目

グローバルな
情報発信能力

環境調和社会・
知識基盤社会
を支える素養

経営・経済の
専門的知識

・MOT特論
・産学連携特別講義
・国際連携特別講義

研究科共通科目

eAPRINIによる
研究行動
規範教育

・研究者倫理特別講義
(必修)

演習4単位(必修)
特別実験8単位(必修)

研究手法の修得・論文執筆
複数教員による指導

研究分野の 科学・技術発展
専門的知識 の見解・倫理観

思考や妥当性の 研究・開発
説明・議論能力 能力

情報収集・ 情報発信能力
分析能力

研究進捗状況に関する
中間発表会

研究課題の決定

・質の担保
早期から計画的な研究指導

指導教員の決定

・組織的な教育研究体制
・質の担保
複数研究分野教員に
よる補助指導

論文審査

論文発表会

・透明な審査体制
公開による開催

学位論文提出

審査委員の決定

・透明な審査体制
主査1名、副査2名以上

論文題目決定

学位論文作成・
論文審査

2年次

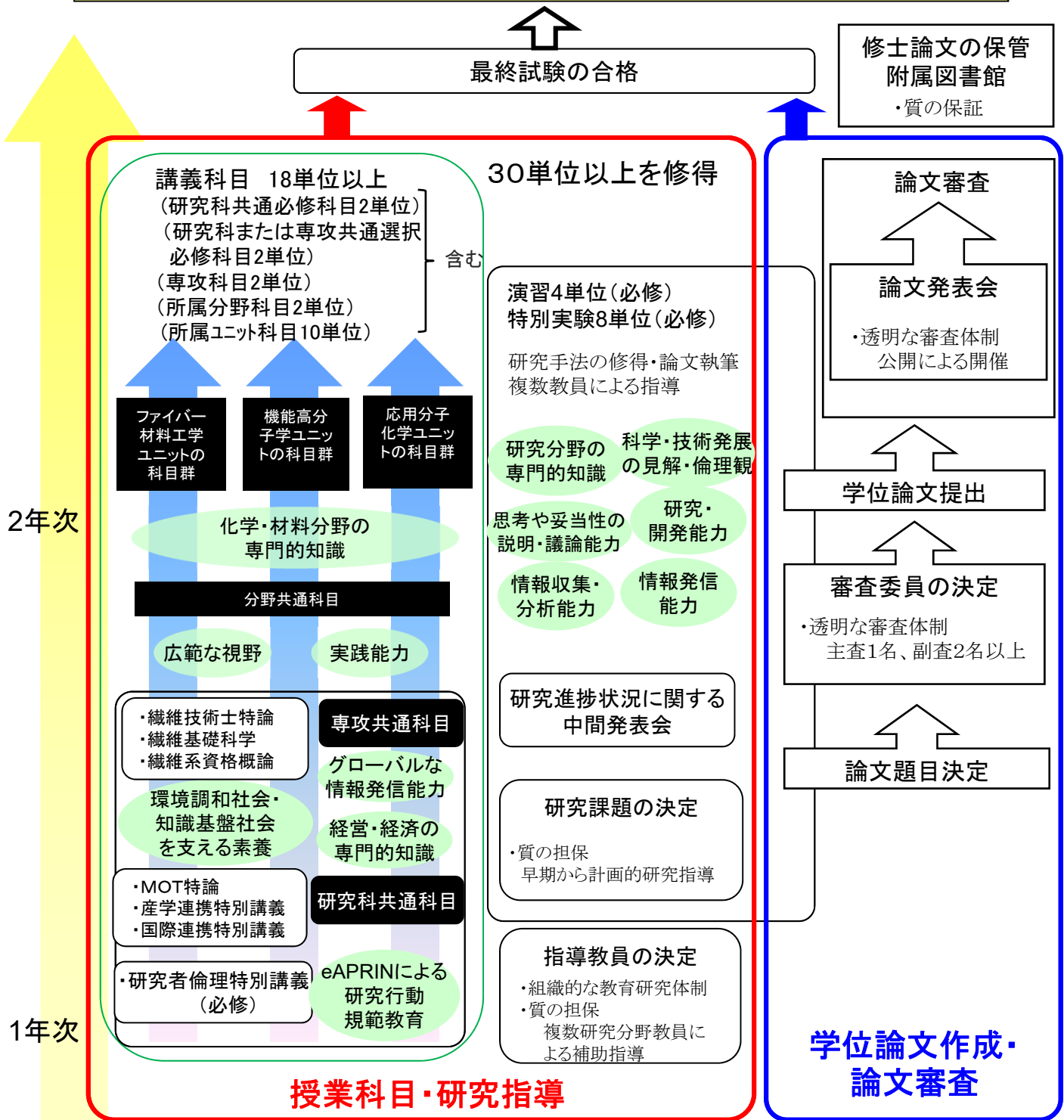
1年次

授業科目・研究指導

1. 大学等において能動的に学び、十分な基礎学力と緻密な思考力を身に付けている人
2. 科学・技術の基礎的あるいは応用的研究に高い意欲を持って取り組む人
3. 世界をリードする先進的・科学・技術を担う研究者、あるいは複雑・高度な諸課題に専門性を持って貢献できる高度専門職業人を旨す人

化学・材料分野の履修プロセス概念図

化学と材料を中心に据えつつ
技術イノベーションを見据えた幅広い観点から
研究開発をおこなえる人材
修士(工学) 学位授与



1. 大学等において能動的に学び、十分な基礎学力と緻密な思考力を身に付けている人
2. 科学・技術の基礎的あるいは応用的研究に高い意欲を持って取り組む人
3. 世界をリードする先進的科学・技術を担う研究者、あるいは複雑・高度な諸課題に専門性を持って貢献できる高度専門職業人を旨とする人

応用生物科学分野の履修プロセス概念図

応用生物科学に関する高度な専門知識と技術を具備し、
生命科学、環境保全、食糧生産などの人類が直面する
諸課題に対応することができる人材

修士(農学) 学位授与

最終試験の合格

修士論文の保管
附属図書館
・質の保証

30単位以上を修得

講義科目 18単位以上
(研究科共通必修科目2単位)
(研究科または専攻共通選択
必修科目2単位)
(専攻科目2単位)
(所属分野科目12単位以上)

分野授業科目

応用生物科学分野の専門知識

応用生物科学特論、インターンシップ実習

広範な視野

実践能力

・繊維技術士特論
・繊維基礎科学
・繊維系資格概論

環境調和社会・
知識基盤社会
を支える素養

・MOT特論
・産学連携特別講義
・国際連携特別講義

・研究者倫理特別講義
(必修)

専攻共通科目

グローバルな
情報発信能力

経営・経済の
専門的知識

研究科共通科目

eAPRINIによる
研究行動
規範教育

演習4単位(必修)
特別実験8単位(必修)

研究手法の修得・論文執筆
複数教員による指導

研究分野の 科学・技術発展
専門的知識 の見解・倫理観

思考や妥当性の 研究・開発能力
説明・議論能力

情報収集能力 情報発信能力
分析能力

研究進捗状況に関する
中間発表会

研究課題の決定

・質の担保
早期から計画的な研究指導

指導教員の決定

・組織的な教育研究体制
・質の担保
複数研究分野教員に
よる補助指導

論文審査

論文発表会

・透明な審査体制
公開による開催

学位論文提出

審査委員の決定

・透明な審査体制
主査1名、副査2名以上

論文題目決定

学位論文作成・
論文審査

2年次

1年次

授業科目・研究指導

1. 大学等において能動的に学び、十分な基礎学力と緻密な思考力を身に付けている人
2. 科学・技術の基礎的あるいは応用的研究に高い意欲を持って取り組む人
3. 世界をリードする先進的・科学・技術を担う研究者、あるいは複雑・高度な諸課題に専門性を持って貢献できる高度専門職業人を旨する人

総合理工学研究科生命医工学専攻(生命工学分野) 履修プロセス概念図

- ・健康・福祉・医療・創薬分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観
 - ・環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える健康・福祉・医療・創薬分野の高度な専門知識と実践的技術力
 - ・さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力
 - ・深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力
- 以上の能力を有する人材

『修士(医工学)』学位授与

最終試験の合格

修士論文の保管
附属図書館

・質の保証

30単位以上を修得

講義科目
(研究科共通科目及び専攻共通
科目(必修)各2単位)
(分野専門科目(必修)2単位)

専門科目

生命工学特論 2単位(必修)

ほか

専門的知識・能力

専攻共通科目

応用科目

病院インターンシップ研修 1単位
行政・企業インターンシップ研修
2~6単位
実践教育による専門的知識

基礎科目

医療倫理学・社会医工学
2単位(必修)
工学基礎, 生物学基礎

生命医工学の基本的知識

研究科共通科目

研究者倫理特別講義
2単位(必修)
研究者としての
倫理観の醸成

演習4単位(必修)
特別実験8単位(必修)

研究手法の修得・論文執筆
複数教員による指導

研究分野
の専門的
知識

科学・技術
発展の見
解・倫理観

思考や妥
当性の説
明・批判的
思考力

研究・開発
能力

情報収集・
分析能力

情報発信
能力

研究課題の決定

・質の担保
早期から計画的な研究指導

指導教員の決定

・組織的な教育研究体制
・質の担保
複数研究分野教員に
よる補助指導

論文審査

論文発表会

・透明な審査体制
公開による開催

学位論文提出

審査委員の決定

・透明な審査体制
主査1名、副査2名以上

論文題目決定

学位論文作成・
論文審査

授業科目・研究指導

2年次

1年次

- 1.大学等において能動的に学び, 一般教養及び専門分野の基礎学力を身に付けている人
- 2.健康・医療・福祉・創薬分野の基礎的あるいは応用的研究に高い意欲をもって取り組む人
- 3.科学技術を担う研究者あるいは高度専門職業人として社会をリードするとともに, その技術と知識を持って国際社会に貢献する意欲を持つ人
- 4.科学技術の発展が社会にもたらす影響について十分に考え, 社会及び自然環境に配慮したものづくりを目指す人